

さざなみ

成 田 市

No.63

2023年11月

「SDGs×ジェンダー平等を実現しよう！」

～男女共同参画セミナーを実施しました！～

第1回

6月25日

ゼロから学ぶ

ジェンダー×SDGs



第2回

7月29日

絵本とジェンダー

～心をはぐくむ表現とメディアの世界～

女性に対する
暴力をなくす運動



11月12日～11月25日



☆ 内 容 ☆

- ☆男女共同参画セミナー 活動報告
- ☆コラム「LGBT 理解増進法」
- ☆「女性に対する暴力をなくす運動」・相談窓口
- ☆男女共同参画に取り組む企業にインタビュー

第1回男女共同参画セミナー

ゼロから学ぶ ジェンダー×SDGs



令和5年6月25日(日) 午後1時30分～
赤坂ふれあいセンター 大会議室

今年度最初のセミナーである今回は、(独)国立女性教育会館の客員研究員である越智方美さんを講師にお迎えし、「SDGs」「ジェンダー」について、ゼロから分かりやすくお話をさせていただきました。

SDGsは、17の目標と169の数値目標から構成されており、目標5には、「ジェンダー平等を実現しよう」とあります。グローバル・ジェンダー・ギャップ指数についての説明から、ジェンダー平等を進めることは何故必要か、日本の課題等を具体的に教えていただきました。

用語の解説・整理をしてくださり、具体例をあげながらのお話はとても分かりやすく進みました。

アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)についても解説があり、自分自身が気づいていない「ものの見方や捉え方のゆがみ」を言うとのことでした。このことに気づくのは難しいですが、とても大切なことだと思いました。

受講するまで、今回のテーマは難しいと感じていましたが、実は身近な問題だったということに気づくことができ、とても有意義なセミナーになりました。

(渡辺推進員)



【講師】越智 正美さん

(独)国立女性教育会館 客員研究員

参加者の声

- 「SDGs」について、環境問題についてのことしか聞いたことがなかったので、社会問題(ジェンダー平等)もあることを始めて知ることができ、良かったです。
- 性別に左右されることなく、一人ひとりが意識して取り組むことが大切だと感じました。
- SDGsとジェンダーとの関係についてよくわかりました。

コラム

LGBT⑤ ～LGBT理解増進法が施行されました～



LGBT理解増進法(正式名称:「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」)は、いわゆるLGBTQへの理解を広げるための取り組みを国や自治体などに求め、多様な性のあり方を互いに受け入れられる社会の実現を目指すための法律です。罰則はなく、国や自治体の役割、企業や学校などの努力規定が設けられています。

法律の内容や考え方などについては、様々な意見や課題もあります。そういった中で、誰もが自分らしく生きられる社会の実現に向けて、当事者の抱えている困難や生きづらさなどを正しく理解していくことが大切です。今後は、国の具体的な取り組みについても注目が集まりそうです。

第2回男女共同参画セミナー 絵本とジェンダー ～心をはぐくむ表現とメディアの世界～



令和5年7月29日(土) 午後1時30分～
赤坂ふれあいセンター 大会議室

絵本とジェンダーはなかなか結びつかないテーマのように感じていましたが、お話を聞き、幼児期は、周囲の信頼できる人の振る舞い、言葉、会話を通じて様々なことを学び、目に映るもの、耳にするものから影響を受けるので絵本はとても大切なメディアの一つだと学ぶことができました。

私は子どものときに読んだ懐かしさから図書館で絵本を読むことがあります。先生のお話を聞き、絵本に対する見方が変わり違う視点で読んでみようと思うようになりました。

子どもに絵本を、大人にこそ絵本をと、絵本から少し遠ざかった人にも自分の考えを深めたり、社会を考えるきっかけの一助になると先生は仰っています。

東條先生の笑顔の講演を見ていたら、〈笑本（えほん）〉が浮かんで幸せな気持ちになりました。わたしたち一人一人が大きな影響を与えるメディアだと自覚していこうと学んだお話でした。

(土屋推進員)



【講師】東條 知美さん

絵本コーディネーター

参加者の声

- 今回の講座を受けて、本屋の絵本コーナーに行ってみたくになりました。
- 子育てを通して絵本を身近に感じる今日この頃ですが、社会がこんなにも反映されているものなのかと驚きと絵本のありがたさ・素晴らしさを改めて感じました。
- 少子化が進む日本においては、男女の区別なくジェンダー平等に向けて今以上に取り組む必要性を考えさせられました。



11月12日から25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です

もし配偶者・パートナーからの暴力に悩んでいたら、ひとりで悩まず相談してください。

内閣府 性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター #8891
警察庁 性犯罪被害相談電話 #8103

女性のための相談（予約制）

専門の女性相談員によるカウンセリング

毎週木曜日 午前10時～正午

午後1時～午後4時（祝日を除く）

（成田市市民協働課 TEL：0476-20-1507）

千葉県女性サポートセンター

365日24時間電話相談

TEL：043-206-8002

相談は無料です。秘密は厳守されます。

安心してご相談ください。



～男女共同参画に取り組む企業にインタビュー！～

男性・女性も働きやすい職場づくりに力を入れています！

成田市では、男女共同参画計画の基本目標の一つに「あらゆる人が仕事と家庭を両立できる環境づくり」を掲げています。今回は、令和4年度の「千葉県男女共同参画推進事業所表彰」として奨励賞を受賞された株式会社ナリコーさんを訪問し、若手社員の方々からお話を伺ってみました。



空港メンテナンス業や建設業、葬祭業、飲食業など業務が多岐にわたるナリコーさん。これまでほぼ男性が占めていた建設部門では、物理的に女性が働きやすい環境となるよう、現場の声に耳を傾けながら改善を図っていったそうです。今後は、業務的にも女性が働きやすい職場にしていきたいと抱負を語られていました。



会社としては、働きやすい職場環境の整備を始めて、約3年とのこと。管理職に占める女性の割合と、有給休暇取得率の低さを課題にあげていましたが、それぞれ目標を達成。同時に仕事と子育ての両立支援制度を整えている企業として「くるみん認定」(※1)を取得されたそうです。現在は女性活躍を推進している企業が取得できる「えるぼし認定」(※2)を目指しています。

- ※1 次世代育成支援対策推進法に基づき、一定の基準を満たした企業を「子育てサポート企業」として認定する制度。
- ※2 女性活躍推進法に基づき、一定基準を満たし、女性の活躍促進に関する状況などが優良な企業を認定する制度。

加えて、男性の育児休業についての周知や時間休制度を導入するなど、男性も女性も子育てや家庭生活と仕事を両立できる働き方ができるよう取り組んでいるほか、外部講師を招いた「女性活躍推進セミナー」の実施や、これまで男性が中心だった会議や現場の巡視などに女性を積極的に登用するなど、数値目標だけではなく、中身が伴ったワークライフバランスの実現への意気込みを感じることができました。



このようにSDGsや女性活躍、誰もが働きやすい会社を目指して口火を切られたのは、企業リーダーである社長であり、旗振り役だけでなく実際に取り組みにも積極的に参加されているそうです。これまでの慣習に変化を起こすためには、周知と実行が重要だということを改めて実感したインタビューでした。この時代の流れに乗って、誰もが働きやすい企業が増え、自分らしく生きられる社会になるよう願っています。

(推進員：中村・佐瀬)

インタビューの最後に、株式会社ナリコーさんが力を入れているSDGsの取り組みの一環として植樹されているナリコー早生桐®と一緒に記念撮影をさせていただきました。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。

【取材協力】株式会社ナリコー SDGsプロジェクトチームの皆さん